

# 緑の風 NEWS

JRW JR東労組  
NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年12月8日 No.45



12月6日、「全地本代表者会議」を開催し、各地本等の代表者が集まりました。

冒頭、加藤中央執行委員長は、年末手当の教訓や高市政権による労働時間緩和への問題意識、パワーハラや不当労働行為に抗する決意を挨拶しました。

続いて各部から、要員不足の中で奮闘する現場の怒りを2026JR総連春闘へ結集すること、不利益変更を許さないたたかい、組織強化・拡大、そして不当労働行為やパワーハラを許さず裁判等のたたかいへ連帯を強化することを提起しました。

各機関からの発言では、グループ会社の賃金水準向上の重要性や、原因究明委員会を通じた信頼関係づくり、組織強化・拡大の実践などが語されました。そして、7年半以上続く不当労働行為に対し、JR東労組への加入を妨害されない環境をめざし、労働委員会と裁判でたたかう大宮地本の仲間へ檄布を手渡し、全地本でたたかう決意を確認しました。

高橋書記長のまとめでは、バス関東をはじめとするパワーハラを許さず、要員不足に抗して安心して働く職場をつくる為、1万名組織をめざすことを確認しました。

**命と尊厳、安全・健康・生活を守るために、連帯を深め、組織強化・拡大を全組合員で実現しよう！**